

# 平成 22 年度通常総会

## 総務委員会

東北地質調査業協会の平成 22 年度通常総会は、平成 22 年 5 月 20 日に仙台市宮城野区の「仙台ガーデンパレス」に於いて開催されました。会員総数 49 社の内、出席 32 社、委任状 17 社で過半数以上の出席が得られ、ここに総会成立を併せて報告致します。

通常総会は、平成 21 年 11 月 5 日に開催された 50 周年記念式典行事を含めた平成 21 年度の事業報告と収支報告、平成 22 年度事業計画案と予算案、役員変更の審議が主な内容であり、以下に概要を報告致します。

### 1. 早坂理事長挨拶

本日はお忙しい中、東北地質調査業協会の平成 22 年度通常総会に出席していただき、大変ありがたく思っております。

建設経済研究会によれば、「日本経済は海外経済の改善や経済対策の効果などを背景に持ち直してきているが、設備投資の建設分野までの波及がすぐには見込めない中で、住宅投資も低水準にとどまり、公共投資が大幅減少となることから、建設産業にとっては、一層厳しい経営環境に直面すると見込まれる。」と、されております。

この厳しい状況の中、昨年度は、当協会の設立 50 周年にあたりましたが、会員皆様の力を結集して、記念行事を盛大に且つ有意義に無事執り行うことが出来ました。まず 11 月 1 日に協会誌「大地 50 号」を 50 周年記念特集号として発刊し、11 月 5 日に国土交通省様をはじめとする関係諸官庁や関係学会をお招きしての記念式典、伊奈かつぺい氏の記念講演会、そして仙台雀躍りと津軽三味線のアトラクションを取り入れた記念祝賀会を行いました。更には、これらの記念行事の内容を収めた記念誌を本年 1 月 15 日に発行いたしました。

その他の一般事業としては、総会資料に示してあるとおりですが、全地連主催の松

江市での技術 e フォーラム、地質調査技士講習会と試験、地質情報管理士試験、産学官連携技術講習会、岩手県での積算資料説明会、東北地整局、宮城県、岩手県との意見交換会、災害復旧事業講習会、東北地整局との災害協定、青森県での地整局の河川・道路管理講習会、工業高校への講習会、3 協会合同賀詞交歓会と新春セミナー、32 回若手技術者セミナー、道路設計ノウハウ集改定作業、独占禁止法関係研修会、親睦行事、HP の更新など多くのことを実施いたしました。更に、事務局は、会費についての会員ランク見直し作業を行って、今年度からの会費の基礎資料といたしました。

今年度の事業は沖縄での技術フォーラムのほか、昨年度とほぼ同様の事業を計画しております。機関誌「大地」51 号の発刊も予定しております。

また、全地連の取り組みは、昨年も「資格」「積算」「フォーラム」「講習」「刊行物の発刊」に加えて、「地質リスク」「メンテナンス」「ジオパーク」「新マーケット」「技術の継承」などへの積極的な取り組みが行われたほか、国土交通省、土木研究所、産業技術総合研究所との意見交換会を行って、現状を打破しようと努力されております。更に、「地質調査技士」の管理技術者への格上げ、「地質情報管理士」の登用実現化、「地域活性化委員会」の立ち上げなどもおこなわれており、業界の活性化へ一歩ずつですが、確実に進みつつあります。

ただ今から、各種議案を検討していただきますが、当協会の生き残りを懸けて、これからの 51 年目をどう取り組んでいくのか、さらには、将来を見据えてどのような展望の下に、私達『東北の地質調査業』を進めていくのか、会員皆様のお知恵を是非拝借したいものと存じます。

地域経済会では、「観光」と「産業創出・育成」が鍵であるとの話もあります。地質調査業は、本来、サービス産業である事を

もう一度かみしめて、この東北の地、自然が豊かで、資源が多い一方で災害も多いこのみちのくから、新しいサービス産業を自ら興すべく、各会員の叡智が必要とされております。安全安心で美しい東北をこれからも継承し続けていくには、当協会並びに会員各位が担い手にならなければなりません。

『明るく活力のある元気な協会・会員による今後の50年』を目指すとともに、会員皆様のご多幸を祈念して、簡単ではありませんが総会開催の挨拶といたします。

## 2. 議事

議長：早坂理事長  
議事録署名人：基礎地盤コンサルタンツ株式会社 新田 洋一氏  
株式会社テクノ長谷 小野寺 公教氏

**第1号議案** 平成21年度事業報告承認  
西山事務局長から「会員・役員・委員会に関する事項」、早坂理事長から「全地連に関する事項」、曾根総務・技術委員長と高野広報委員長から「対外関係に関する事項」および「50周年記念式典」と「東北地質調査業協会に関する事項」の報告を行った。

**第2号議案** 平成21年度収支会計報告および監査報告承認  
事務局から50周年記念式典および平成21年度の収支決算報告、監事から監査報告があり、第1号議案、第2号議案ともに異議なく承認された。

**第3号議案** 平成22年度事業計画(案)  
事業計画(案)について各委員長より報告があり、異議なく事業計画として承認された。

### 第4号議案 会員ランク見直し

本総会において平成18年から平成20年の営業収入により、会員ランクを見直した結果を報告し、承認された。

### 第5号議案 平成22年度収支予算(案)承認

事務局長から、総額27,589,051円の提案説明があり、異議なく承認された。

### 第6号議案 役員変更について

事務局長から、下記役員変更の報告があり、異議なく承認された。

#### 委員長の変更

新総務委員長(理事)

宮城県 大友 秀夫

「東北ボーリング(株)」

新技術委員長(理事)

宮城県 高野 邦夫

「(株)ダイヤコンサルタント東北支社」

新広報委員長(理事)

宮城県 高橋 克実

「土地地質(株)」

#### 理事の変更(新任)

青森県 坂本 和記

「大泉開発(株)」

宮城県 大友 秀夫

「東北ボーリング(株)」

宮城県 佐々木 和彦

「応用地質(株)東北支社」

#### 監事の変更(新任)

宮城県 鈴木 益夫

「中央開発(株)東北支店」

総会の最後に、新委員長・理事の挨拶を行いました。

総会終了後は、懇親会に席を移し、早坂理事長挨拶の後、大友理事の乾杯発声で宴会となり、各テーブルでは、大いに盛り上がりを見せ会員相互の親睦を図った。最後に奥山副理事長の締めでお開きとなりました。